



令和5年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和4年8月4日

上場会社名 コンピューターマネージメント株式会社

上場取引所 東

コード番号 4491 URL <https://www.cmknet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹中 勝昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員

(氏名) 吉田 徹 TEL 050 (3508) 9000

四半期報告書提出予定日 令和4年8月5日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の連結業績（令和4年4月1日～令和4年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|------------|-------|-----|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 5年3月期第1四半期 | 1,594 | 3.8 | 97 | 1.6 | 100 | 3.2 | 68 | 1.7 |
| 4年3月期第1四半期 | 1,535 | 5.1 | 96 | 184.3 | 97 | 174.3 | 67 | 189.8 |

(注) 包括利益 5年3月期第1四半期 61百万円 (18.5%) 4年3月期第1四半期 51百万円 (△15.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 5年3月期第1四半期 | 67.06 | 66.44 |
| 4年3月期第1四半期 | 66.00 | 65.37 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 5年3月期第1四半期 | 4,045 | 2,585 | 63.9 |
| 4年3月期 | 3,968 | 2,585 | 65.2 |

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 2,585百万円 4年3月期 2,585百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 4年3月期 | - | 0.00 | - | 60.00 | 60.00 |
| 5年3月期 | - | - | - | - | - |
| 5年3月期（予想） | - | 0.00 | - | 60.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年3月期の連結業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,000 | 7.8 | 450 | △8.9 | 450 | △9.8 | 310 | △12.2 | 305.14 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|---------|------------|---------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 5年3月期1Q | 1,016,000株 | 4年3月期 | 1,016,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 5年3月期1Q | 80株 | 4年3月期 | 80株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 5年3月期1Q | 1,015,920株 | 4年3月期1Q | 1,015,320株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい行動制限や水際対策が緩和され、経済活動の正常化が見込まれたものの、急速に進んだ円安と原材料高に影響を受けた物価上昇もあり、企業の設備投資や個人消費等の回復は限定的なものとなりました。また新型コロナウイルス感染症について、7月以降に感染者数が急拡大し第7波が到来したことにより新型コロナワクチンの4回目接種が進められているものの、経済活動への影響が懸念されます。他方、世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻によって脱ロシア化を進める西側諸国のエネルギー不足などにより高インフレに見舞われ、依然として先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えたデジタル化への設備投資意欲は高く、デジタルトランスフォーメーションを進める動きは継続して活発なものとなっております。IT投資への需要は引き続き堅調に推移いたしました。加えて、令和5年10月にインボイス制度が開始されることに伴い、導入企業のデジタル化へのIT投資ニーズの高まりにも期待ができることから、情報サービス産業に吹く追い風は今後も継続するものと見込まれます。

このような状況の下、当社グループは、ウィズコロナ対応としてリモートワーク及び時差出勤の実施、WEB会議システムを活用した商談等により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ事業活動を安定的に継続してまいりました。また、ゼネラルソリューションサービス、インフラソリューションサービス、ERPソリューションサービスの3つのサービスを軸として、新規顧客の獲得による受注拡大、既存顧客との取引拡大、高収益案件の受注拡大により収益の伸展を図り、営業力の強化も進め、小規模から大規模に至る顧客の戦略的システム構築を数多く手掛けてまいりました。今後も堅調な受注と安定的な成長に向け、人材の積極的な採用と育成に注力しつつ、事業の拡大と更なる収益力向上に取り組んでまいります。

当社グループでは、サステナブル経営の一環としてESG基本方針を定め、エネルギー省力化などの環境課題、ダイバーシティ推進などの社会課題、健全な経営を行うための自己管理体制の構築などのガバナンスに取り組み、持続的な企業の成長とSDGsの実現に向けた取り組みに努めております。

なお、当社グループはシステムソリューションサービスの単一セグメントであります。システムソリューション別の概況については以下のとおりであります。

① ゼネラルソリューションサービス

ゼネラルソリューションサービスにつきましては、BPOビジネスの拡大、新規ビジネスパートナーの開拓の他、エンドユーザー案件受注拡大も推進してまいりました。特にBPOビジネスではシステム保守及びヘルプデスクを中心として引き合いも多く、取引が拡大しております。また、新規ビジネスパートナーとの協業体制確立・既存ビジネスパートナーとの連携深化による動員力強化を推進し、取引拡大を図りました。以上の取り組みにより、ゼネラルソリューションサービスは順調に推移いたしました。

② インフラソリューションサービス

インフラソリューションサービスにつきましては、首都圏及び関西地区において特定の業種に偏ることなく、要件定義、設計等の上流工程に力を入れ、サーバー構築、ネットワーク構築及びデータベース構築等のサービスを提供してまいりました。特にAWSを中心としたクラウド技術の他、コンテナオーケストレーションツールのKubernetesをはじめとしたコンテナ関連の技術にも注力しております。また、リーダー層育成による管理体制強化を図り、開発現場の既存案件から派生する案件の掘り起こしを推進いたしました。以上の取り組みにより、インフラソリューションサービスは順調に推移いたしました。

③ ERPソリューションサービス

ERPソリューションサービスにつきましては、SAP商品群においては、大企業向けSAP S/4HANA、中堅企業向けSAP Business By Design及び中小企業向けSAP Business OneのSAP ERPの3大ラインアップを展開しております。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大型案件で受注が減少したため軟調に推移いたしました。一方で、単価の高いコンサルティング案件は増加傾向にあり、海外進出を視野に入れた顧客からSAP導入や基幹システム刷新の引き合いも増加しております。連結子会社のノックス株式会社につきましては、IT導入支援事業者として登録を行い、自社ITソリューションの受注拡大を図ってまいりました。以上の取り組みにより、ERPソリューションサービスは、収益安定化に向けた改善を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,594,186千円（前年同期比3.8%増）、営業利益は97,926千円（同1.7%増）、経常利益は100,351千円（同3.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68,125千円（同1.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は4,045,266千円となり、前連結会計年度末に比べ76,915千円増加（前期比1.9%増）いたしました。主な要因は、売掛金171,718千円の減少がありましたが、現金及び預金183,052千円、仕掛品26,197千円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産40,668千円、流動資産のその他に含まれる前払費用18,621千円が増加したことによるものであります。

負債は1,459,698千円となり前連結会計年度末に比べ76,728千円増加（同5.5%増）いたしました。主な要因は、買掛金31,287千円、未払法人税等40,201千円の減少がありましたが、賞与引当金116,101千円、退職給付に係る負債10,275千円、流動負債のその他に含まれる未払費用11,844千円が増加したことによるものであります。

純資産は2,585,568千円となり前連結会計年度末に比べ187千円増加（同0.0%増）いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益68,125千円を計上した一方で、配当金60,955千円の支払及びその他有価証券評価差額金8,986千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和4年5月10日の「令和4年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和4年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日) |
|-------------|------------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,316,321 | 2,499,374 |
| 売掛金 | 927,812 | 756,093 |
| 商品 | 952 | 952 |
| 仕掛品 | 17,503 | 43,700 |
| その他 | 66,514 | 82,802 |
| 貸倒引当金 | △38 | △31 |
| 流動資産合計 | 3,329,065 | 3,382,892 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 26,353 | 26,082 |
| 無形固定資産 | 21,510 | 19,943 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 605,251 | 630,178 |
| 貸倒引当金 | △13,830 | △13,830 |
| 投資その他の資産合計 | 591,421 | 616,348 |
| 固定資産合計 | 639,285 | 662,374 |
| 資産合計 | 3,968,351 | 4,045,266 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 171,938 | 140,651 |
| 未払法人税等 | 119,981 | 79,780 |
| 賞与引当金 | 141,585 | 257,687 |
| その他 | 377,650 | 399,489 |
| 流動負債合計 | 811,156 | 877,609 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 430,682 | 440,957 |
| その他 | 141,130 | 141,130 |
| 固定負債合計 | 571,812 | 582,088 |
| 負債合計 | 1,382,969 | 1,459,698 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和4年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日) |
|---------------|------------------------|-----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 402,473 | 402,473 |
| 資本剰余金 | 352,473 | 352,473 |
| 利益剰余金 | 1,722,818 | 1,729,989 |
| 自己株式 | △255 | △255 |
| 株主資本合計 | 2,477,509 | 2,484,679 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 123,618 | 114,632 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △15,746 | △13,743 |
| その他の包括利益累計額合計 | 107,872 | 100,889 |
| 純資産合計 | 2,585,381 | 2,585,568 |
| 負債純資産合計 | 3,968,351 | 4,045,266 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 1,535,312 | 1,594,186 |
| 売上原価 | 1,176,859 | 1,203,542 |
| 売上総利益 | 358,452 | 390,643 |
| 販売費及び一般管理費 | 262,137 | 292,716 |
| 営業利益 | 96,315 | 97,926 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 873 | 914 |
| 助成金収入 | — | 1,500 |
| その他 | 10 | 10 |
| 営業外収益合計 | 884 | 2,424 |
| 営業外費用 | | |
| その他 | 0 | — |
| 営業外費用合計 | 0 | — |
| 経常利益 | 97,199 | 100,351 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 97,199 | 100,351 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 71,655 | 69,818 |
| 法人税等調整額 | △41,463 | △37,592 |
| 法人税等合計 | 30,192 | 32,225 |
| 四半期純利益 | 67,007 | 68,125 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 67,007 | 68,125 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 67,007 | 68,125 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △17,408 | △8,986 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,999 | 2,003 |
| その他の包括利益合計 | △15,408 | △6,983 |
| 四半期包括利益 | 51,598 | 61,142 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 51,598 | 61,142 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、システムソリューションサービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。